

令和7年度 第1回学校評価アンケート結果 (R.7.10.1)

八王子市立恩方第一小学校

保護者・地域の皆様には、学校へ貴重なご意見、ご感想をいただきありがとうございました。自由記述でいただいた内容も含め、皆様からいただいたご意見をもとに、本校の教育活動の推進・改善を図って参ります。貴重なご意見を真摯に受け止め、全校で共有し、恩一子全員が成長し、全員が認め合って学んでいけるよう、引き続き教育活動を進めて参ります。今後とも本校の教育活動にご理解とご協力のほどよろしくお願いたします。

また、第2回学校評価アンケートを今後予定しておりますので、ご協力よろしくお願いたします。

	設問	肯定的評価		否定的評価		分からない
		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
1	教育目標【よく考える子・よく励む子・思いやりのある子・じょうぶな子】を知っていますか。	77%	17%	2%	4%	0%
		94%		6%		
	<p>多くの方々に本校の教育方針をご理解いただいています。今年度の重点目標は昨年度に引き続き「思いやりのある子(豊かな心を持ち、互いに認め合い、助け合う子)」です。また、その方針として、特別の教科 道徳の授業や特別活動における様々な集団活動への自主的・実践的な取組を基にして、自他を尊重する姿勢を養うことを掲げています。思いやりのある具体的な姿をご家庭でも価値付けしていただけるとありがたいです。</p>					
2	学校が力を入れている「思いやりの育成」(たてわり班活動・たてわり班掃除・集会活動等)を行っていることを知っていますか。	70%	24%	2%	4%	0%
		94%		6%		
	<p>多くの方々に本校の力を入れている取組にご理解をいただいています。「思いやりの育成」に向けて、たてわり班活動に重点を置いています。たてわり班の活動は、「異学年の交流を通して、豊かな人間関係を育む」「みんなで助け合って楽しく遊ぶ」をねらいとして行っています。流れとして、6年生が①リーダー会議で次回のたてわり班について全体で話し合いをする。②遊びやみんなが楽しめる工夫を考える。③各班の先生に考えたことを見せよう。④掲示板にはって下学年に知らせる。となっています。</p>					
3	本校が、恩方中学校と合同で行う授業参観や情報交換などに取り組んでいることを知っていますか。	49%	28%	6%	11%	6%
		77%		17%		
	<p>小中一貫教養義務教育9年間を見通した小中一貫教育の取組として、恩方中学校グループ(恩方第二小学校・元木小学校と本校の4校)で連携を図っています。年3回「小中一貫教育の日」を設定し、今年度の1学期は恩方中学校を訪問しました。2学期は恩方第一小学校、3学期は恩方第二小学校を会場に、授業の様子を見学し、教員間で情報交換する予定です。情報交換の内容としては、児童・生徒の学習の定着に関する状況把握内容の確認や進捗状況、段差のない中学への進学に向けた生活指導の充実などです。また、「はちおうじっ子サミット」等、児童・生徒が連携する取組もあります。</p>					
4	学校は、子どもたちが安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいることを知っていますか。	79%	21%	0%	0%	0%
		100%		0%		
	<p>多くの方々に本校の力を入れている取組にご理解をいただいています。避難訓練は、毎月1回、地震や火災等の想定や時間帯、避難経路等を変えて計画的に行っています。子どもたちが繰り返し経験することで、防災に関する知識と技能を身に付けることができるように指導しています。不審者対応や、地域に特化した土砂災害を想定した訓練も取り入れています。また、保護者の皆様には、1学期に行いました小中合同の引き渡し訓練にも協力をいただいております。今後も災害が起こってしまったときには、まずは、自分の身は自分で守ること、そして、互いに助け合うことの重要性を伝えていきます。</p>					

	設問	肯定的評価		否定的評価		分からない
		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
5	学校は、「特別の教科 道徳」を含む教育活動全体を通して、子どもが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動することができるような教育をすすめていると思いますか。	53%	36%	2%	4%	5%
		89%		6%		
<p>自他を大切にすることは、学校教育目標の重点目標「思いやりのある子」にもつながる内容です。2月7日(土)には道徳授業地区公開講座を予定していますので、ぜひご参観ください。特別の教科 道徳の授業では、「考える道徳」「議論する道徳」を目指しています。また、「いのちの大切さを共に考える日」には、「いのち」をテーマとした校長による講話を行います。今後も、教育活動の様々な場面で、互いの良さや可能性を發揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、自他を尊重し、互いを思いやる心の育成を図ってまいります。</p>						
6	学校は、いじめの未然防止への取り組み、いじめの早期発見、早期対応等いじめを許さない学校づくりに取り組んでいると思いますか。	45%	28%	11%	4%	12%
		73%		15%		
<p>学校いじめ対策委員会では「いじめはどの子どもにも、どの学校においても起こりえる、だれもが加害者にも被害者にもなり得る」という認識に立ち、教育委員会や家庭、地域と連携し、いじめの未然防止と早期発見・対応・解決の取組を徹底しています。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、心理士等とも連携しています。取組の例として、児童へは「SOSの出し方に関する授業」「いのちの大切さを共に考える日」、たてわり班活動や学級活動などの「児童の自己肯定感を高める取組」等があります。「子ども見守りシート」の活用等、保護者・地域との連携も重点にしています。また、情報モラルの指導の徹底等、インターネット上でのトラブル防止にも努めていきます。</p>						
	設問	肯定的評価		否定的評価		分からない
		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
7	子どもの学級では、授業や学校行事(運動会など)に意欲的に取り組むよう、指導が行われていると思いますか。	62%	32%	2%	0%	4%
		94%		2%		
<p>引き続き、ねらいを明確にした問題解決型の授業で、解決への見通しや意欲・期待を持たせたり、意見交換をさせたりするなど、児童が意欲的に取り組めるよう、導入や展開を工夫していきます。1学期の学校行事の運動会では、保護者・地域の皆様のご協力・声援を受け、練習の成果を十分に発揮することができました。徒競走でのケガ等、安全面での反省点を次年度に生かしていきます。2学期11月には展覧会が行われます。作品の製作は1学期4月から始まっており、長きにわたる準備の成果を発表できることを児童も楽しみにしています。</p>						
8	学校は、授業において、説明、板書、発問、ICT機器、1人1台学習用端末の活用などの工夫に取り組んでいると思いますか。	55%	32%	2%	0%	11%
		87%		2%		
<p>上記(7)に記載のような工夫を通して、思考・判断をして表現する場を意図的・効果的に設定し、主体的・対話的な深い学びの実現を目指します。また、教員の授業力向上において校内OJTも充実させていきます。1人1台学習用端末に関しては、新聞・ポスター等 学習のまとめの作成や話し合いのツールとして、また学習の振り返りの記録、オンライン学習等、各学年の実態に合わせて様々な場面で活用しています。ドリル学習では、個々の進度に合わせた学習や市の学力定着度調査(4~6年)の結果に連動し個々の課題にも活用しています。</p>						
9	学校の子どもの学習活動に対する評価は、適切・公平であると思いますか。	45%	36%	6%	2%	11%
		81%		8%		
<p>新学習指導要領に基づき、日々の学習活動を通して、評価を行っています。「意欲につながる評価」「学力向上につながる評価」となるよう工夫改善し、ご理解いただけるよう今後も保護者会等でご説明いたします。引き続き家庭でも、励まや頑張りを認める前向きな言葉かけをお願いします。</p>						

	設問	肯定的評価		否定的評価		分からない
		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
10	学校は、子どもたちがよりよい学校生活を送れるように、生活目標を設定したり、きまりを守ったりする指導を行っていると思いますか。	53%	30%	6%	0%	11%
		83%		6%		
	生活指導担当の教員が中心となり、月ごとの生活目標を全校集会等の場で児童と確認し、次回の集会でふり返しを行うようにしています。教員からの発信ばかりではなく、児童の各委員会等からもそれぞれの役割に特化した話題を発信し、子供たちの主体性を生かした取組も行っています。校外での生活指導として、交通安全の指導は年間を通して繰り返し行っています。また、長期休業前には、生活習慣や地域での過ごし方等も指導しています。					
11	「はちおうじっ子 キャリア・パスポート」等を用いて、子どもの生き方や将来についてのキャリア教育（例：係活動・委員会活動・クラブ活動・たてわり班活動・キャリアパスポート等）を行っていることを知っていますか。	68%	19%	4%	2%	7%
		87%		6%		
	「キャリア教育」とは、「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」です。授業での具体的な活動では、低学年では生活科の「まち探検」、中学年では総合的な学習の時間の「福祉体験」、高学年では総合的な学習の時間の「認知症サポーター講座」などが位置付けられます。また、個人面談等でご記入いただいた「キャリアパスポート」や「たてわり班活動」、「係活動」、「委員会活動」、「クラブ活動」、「入学当初の6年生による1年生のサポート」も子どもが将来の進路や職業について考えることの一環です。今後も一っ子の思いや成長の積み重ねをキャリア教育に生かしていきます。					
12	学校は、学習環境の整備に取り組んでいると思いますか。	60%	26%	9%	0%	5%
		86%		9%		
	児童の清掃活動・教職員による学校施設点検・用務主事による環境整備等、日常から進めております。教職員による学校施設点検は、毎月実施し、不具合があれば用務主事と連携を取って、すぐに対応しています。子どもたちが安全に安心して学習できる環境づくりを今後も進めていきます。					
13	学校は、保護者に対して適切に情報（メール配信・ホームページ・学校だより等）を提供していると思いますか。	55%	30%	11%	2%	2%
		85%		13%		
	カーボンニュートラルの観点により、情報提供は電子媒体を基本としています。お便りやメール、ホームページ、オンライン等で情報発信を続けていくとともに、速く、正確に、分かりやすく保護者の皆様にお伝えできるよう今後も努めてまいります。有益・必要な情報の精選をすると共に、「急で・細かく・大切な」お知らせも増えています。保護者・地域の皆様には、今後ともメールでのお便りの閲覧にご協力をお願い申し上げます。					
14	学校は、特別支援教育（特別な支援を必要とする子どもに対する教育）に取り組んでいること知っていますか。	40%	17%	11%	4%	28%
		57%		15%		
	肯定的評価が57%、「わからない」というご回答が28%と、特別支援教育にかかわる取組の周知について課題があると認識しています。特別支援教育を推進するため、校内委員会を中心とした支援体制を充実させています。この校内委員会は、スクールカウンセラーや関係諸機関とも連携しています。例えば、個別指導計画や学校生活支援シートを活用するなどして、学校全体で方向性の理解と体制の確認を行います。また、東京都巡回心理士が年間を通して定期的に本校の学級を巡回し、在籍学級担任等に対し必要な助言や支援を行ったり、教員向けの研修にも取り組んだりしています。児童が授業に取り組む際の補助として、学校サポーターも活用しています。本校には、すまいる教室（特別支援教室）が設置されており、特別支援専門員がこの運営の中心となります。すまいる教室では、個別指導や小集団指導を通して、一人一人の教育的ニーズに応じた学習を進めています。指導には、特別支援専門員の他に、巡回の担当教員が当たります。 特別支援教育についての情報発信の仕方を改善しながら、周知・ご理解につながるよう努めてまいります。					